

応用 標準解答




- 解答は、標準的な操作手順で記載しています。
- 設定する項目が一覧にない場合は、任意の項目を選択してください。

Lesson 18

①

- ① セル【H2】に「=TODAY()」と入力

②

- ① セル【D20】をクリック
- ②  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《検索/行列》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《VLOOKUP》を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《検索値》にカーソルがあることを確認
- ⑧ セル【C20】をクリック
- ⑨ 《範囲》のボックスにカーソルを移動
- ⑩ セル範囲【J20:N27】を選択
- ⑪  を押す
- ⑫ 《列番号》に「3」と入力
- ⑬ 《検索方法》に「FALSE」と入力
- ⑭ 数式バーに「=VLOOKUP(C20,\$J\$20:\$N\$27,3,FALSE)」と表示されていることを確認
- ⑮ 《OK》をクリック



POINT

セル【C20】に「商品コード」が入力されていないので、エラー「#N/A」が表示されます。「商品コード」を入力すると、「商品名」が参照されます。

POINT

引数に「TRUE」を指定すると、データが一致しない場合に近似値を検索します。「TRUE」を指定する場合、参照用の表は、一番左の検索値を昇順に並べておく必要があります。

③

- ① セル【E20】をクリック
- ②  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《検索/行列》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《VLOOKUP》を選択


- ⑥《OK》をクリック
- ⑦《検索値》にカーソルがあることを確認
- ⑧セル【C20】をクリック
- ⑨《範囲》のボックスにカーソルを移動
- ⑩セル範囲【J20:N27】を選択
- ⑪ **[F4]**を押す
- ⑫《列番号》に「5」と入力
- ⑬《検索方法》に「FALSE」と入力
- ⑭ 数式バーに「=VLOOKUP(C20,\$J\$20:\$N\$27,5,FALSE)」と表示されていることを確認
- ⑮《OK》をクリック

④

- ①セル【F20】をクリック
- ② **[fx]** (関数の挿入) をクリック
- ③《関数の分類》の **[v]** をクリック
- ④《検索/行列》をクリック
- ⑤《関数名》の一覧から《VLOOKUP》を選択
- ⑥《OK》をクリック
- ⑦《検索値》にカーソルがあることを確認
- ⑧セル【C20】をクリック
- ⑨《範囲》のボックスにカーソルを移動
- ⑩セル範囲【J20:N27】を選択
- ⑪ **[F4]**を押す
- ⑫《列番号》に「4」と入力
- ⑬《検索方法》に「FALSE」と入力
- ⑭ 数式バーに「=VLOOKUP(C20,\$J\$20:\$N\$27,4,FALSE)」と表示されていることを確認
- ⑮《OK》をクリック

⑤



- ①セル【D20】をダブルクリック
- ②セル【D20】の数式を「=IF(C20="","",VLOOKUP(C20,\$J\$20:\$N\$27,3,FALSE))」に修正
- ③ **[Enter]**を押す
- ④セル【E20】をダブルクリック
- ⑤セル【E20】の数式を「=IF(C20="","",VLOOKUP(C20,\$J\$20:\$N\$27,5,FALSE))」に修正
- ⑥ **[Enter]**を押す
- ⑦セル【F20】をダブルクリック
- ⑧セル【F20】の数式を「=IF(C20="","",VLOOKUP(C20,\$J\$20:\$N\$27,4,FALSE))」に修正

- ⑨  を押す
- ⑩ セル範囲【D20:F20】を選択し、セル範囲右下の■（フィルハンドル）をセル【F25】までドラッグ



⑥

省略

⑦

- ① セル【H20】をクリック
- ② （関数の挿入）をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《論理》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《IF》を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《論理式》にカーソルがあることを確認
- ⑧ セル【C20】をクリック
- ⑨ 「C20」に続けて「=」と入力
- ⑩ 《値が真の場合》に「」と入力
- ⑪ 《値が偽の場合》に「F20*G20」と入力
- ⑫ 数式バーに「=IF (C20="", "", F20*G20)」と表示されていることを確認
- ⑬ 《OK》をクリック
- ⑭ セル【H20】を選択し、セル右下の■（フィルハンドル）をセル【H25】までドラッグ

⑧

- ① セル【H26】をクリック
- ② （関数の挿入）をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《数学/三角》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《SUMIF》を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《範囲》にカーソルがあることを確認
- ⑧ セル範囲【E20:E25】を選択
- ⑨ 《検索条件》に「※」と入力
- ⑩ 《合計範囲》にカーソルを移動
- ⑪ セル範囲【H20:H25】を選択
- ⑫ 数式バーに「=SUMIF (E20:E25, "※", H20:H25)」と表示されていることを確認
- ⑬ 《OK》をクリック

POINT

SUMIF関数を使うと、指定した範囲内で条件を満たしているセルの合計を求めることができます。指定できる検索条件は1つです。例えば、売上表の中から商品コードごとの売上合計を求めるときなどに使うことができます。

=SUMIF(範囲, 検索条件, 合計範囲)

①

②

③

① 範囲

検索の対象となるセル範囲を指定します。

② 検索条件

検索条件を文字列またはセル、数値、数式で指定します。

※文字列を指定する場合は「" (ダブルクォーテーション)」で囲みます。

③ 合計範囲

合計を求めるセル範囲を指定します。



※範囲内の文字列や空白セルは計算の対象になりません。

※省略できます。省略すると①の範囲が対象になります。

⑨

- ① セル【H27】に「=H26*F26」と入力

⑩

- ① セル【H28】をクリック
- ②  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《数学/三角》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《SUMIF》を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《範囲》にカーソルがあることを確認
- ⑧ セル範囲【E20:E25】を選択
- ⑨ 《検索条件》に全角空白を入力
- ⑩ 《合計範囲》にカーソルを移動
- ⑪ セル範囲【H20:H25】を選択
- ⑫ 数式バーに「=SUMIF(E20:E25," ",H20:H25)」と表示されていることを確認
- ⑬ 《OK》をクリック

⑪

- ① セル【H29】に「=H28*F28」と入力